

報道機関 各位

取材のご案内

令和5年2月3日

兵庫県内で4番目！
2023年2月より神経内分泌腫瘍の新治療・PRRT療法を開始しました。
～播磨姫路圏域で初めて実施可能となりました～

姫路赤十字病院では2023年2月より神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体核医学内用療法（PRRT療法）を開始いたしました。

県内で4施設目、播磨姫路圏域では初めての実施施設となります。

神経内分泌腫瘍はNEN(Neuroendocrine neoplasmの略)と呼ばれ、本邦での頻度は年間6,000人程度とされるまれな疾患です。このNENの治療法の一つとして、PRRT療法が2021年6月より国内で承認されました。NENでは、高い確率で腫瘍細胞に「ソマトスタチン受容体」が発現しています。その特徴を利用して、体内から腫瘍に放射線を照射する治療法がPRRT療法です。ソマトスタチン受容体に結合する物質(ペプチド)に放射線を出す物質(放射性核種)を結合させた薬剤を投与することで、腫瘍に薬剤を取り込ませ、放射線により腫瘍細胞を破壊します。

令和4年4月に医療法施行規則の一部が改正され「特別な措置を講じた病室」での入院治療が可能となりました。

患者さんは専用病室に2泊3日で入院し治療を受けます。治療を受けた後は体内から放射線を放出しているため、放射線が基準値以下に下がったことを確認し、退院となります。

患者さんには8週間間隔で最大4回この治療を行っていただくこととなります。

姫路赤十字病院NENセンターではこの新しい治療を地域の神経内分泌腫瘍患者さんに広くお届けできるよう、努力を続けます。



■取材に関するお問い合わせ先

総務課 松岡 陸馬 (内線: 3223)

TEL 079-294-2251 (代)

FAX 079-296-4050 (代)